

發行所 會藏 京城日報社
電話 編輯部 長三六五番 一六四番
電話 編輯部 長三六五番 一六四番
電話 編輯部 長三六五番 一六四番

●**在郷軍人聯合大會**
帝國在郷軍人會にては廿八日及び廿九日の兩日、在朝鮮帝國在郷軍人分會聯合大會を開催する由にて其の次第次の如し
九月廿八日午後二時、龍田停車場指定の場所にて聯合會開會の儀式を午後五時三十分

●**郷校財算豫算**
例の如く慶會館に於て茶葉を喫して歓迎の意を表することに決議

約十七萬七千圓
大正四年度に於ける郷校財產豫算額は十七萬六千八百九十圓餘に上り

京畿道々勢一擧
進會館旁館

▲櫻岡 十八萬三千五百九十八人
▲夜間 八萬八千五百八十八人
▲總計 廿六萬八千八百八十七人

●立花總長歸任期 東上中
なりし立花總長は廿八日夜東京
歸任の途に就く旨其の筋に電報

と云れぬ無理に食堂に出て家族
同と食卓を圍み昔しの思出など
に留つて居た後▲最う病室に行
か
そ兩手を食卓にかけて「フツこ
い」と立たんとして其儘であつた
な▲七年前の發病の日に永眠す
る
ど之れも何かの因縁であらう

多木製肥所

愛國婦人會總裁に在らせらるゝは申

新

寺内總督は今回新築落成せる京城郵便局視察のため廿七日午前九時白井大藤の兩武官を隨へ自働車を驅て同餘さぬ機敏を實し階上に向ひ配達不能郵便物、及び郵便、電信事務用の機具を一覽し巧妙なる電信機


 耶子の葉套の月目
 金道不競走

臺灣一瞥記——基隆より打狗まで
午後十時釜山發 北行選手 神崎憲

廿二日早朝、我が亞米利加丸は横濱たる濃霧を破つて基隆の埠頭に横付けとなる。莊村基隆驛長、服部臺灣日報記者、島商船支店員其他の出迎を受け服部君の案内で解纜で港内を横切り小基隆に上陸し更に俾で大基隆に行く。小基隆は日本人の市街であり大基隆は支那人乃至土人の市街であるが共に其市街建設は

濃艶な山野の眺望には蘇つた思ひがされた。殊に鐵道部からの周々注意を受けて車長や給仕は旅人は一舉一動に世話を焼いてくれ芳烈バナナ、熊醇酒の様な朱樂、等々を盛り上げて歡待してくれる。で綿んに車坐の疵物を要斷らしく来ぐんた。其の樂を要斷らしく

として正々堂々たるものが
入時基隆驛を發し臺北に

途中宮本某日記者の遊藝を受ける一
 時間にして臺北驛に著て鐵道部の服
 部村儀禮の三事務官が出迎へられ
 入代臺長陳部長が証明を貰つたり旅
 行の打合せをしたりしてと臺日の
 官員部が記念撮影をする云立つた
 り結構となり三枚撮られてるうちに
 寶軍の時刻となる。既に基隆上陸の
 時から山容水態、夫れを彩る樹草の
 色彩濃厚な――南國味に眩惑
 さされてゐたが列車が臺北を
 越えて基隆に到つた時、基隆を北
 へ向つて走る。基隆の山麓に繁る
 蕉の廣葉蔭には累々として繁る
 してバナナが垂れ、細の
 であつた田は畦を窺つて甘蔗を
 繁り、相思樹は檳榔樹の位置を替
 へ、新竹は益々高く莖を太めて行く
 安平鎮はウイロン茶の本場だと云
 へ傾斜した山麓には正に茶所を偲は
 る木の桟が點々列を爲して隠匿な
 る。其共に日本臺灣茶會社の

は相思樹の縁深く佛相花
燭として黄に紅に咲き

陸には新竹の蜜柑なる處に生ひ茂り然もスイーとゆひた。菊は異國に目につき御田に未だ種も出でず青田の稻のそよよと風にそよよ有標は正に母國の春四五月の隙めである。聞けば稻も皆二畝、目のだと云ふ。溝目荒涼として粟、大豆の黄褐色に儘きくす。南北滿洲を管徑に黃海、東海の一望無際として水天相接した航路の後に上陸した蜜柑の此

に降下一葉に登中に入る。其間

隧道が九つある。第九隧道は臺灣鐵道中での最長のもので四の餘呎に及ぶと云ふ。朝鮮鐵道で言はば京元線の高山附近と相似てゐる

■全島一の米產地

であり又附近平畛からの集散地でも盛敬米と云へば群山米、木浦米と云ふ程に全く違ひてゐると言ふ。成城に四望快き計りに青々たる青田錦

愛憎婦人會館會長
ことと
子刀自、同理事柵
子爵夫人は餘程農業に熱心と

鮮男子の冠子が非常に業生數名の出迎があつた形のものゝで寧ろ汽車に急よ南大門驛に入るトプラ帽以上だとの激賞であつたが、其上鮮人の草履襪に紅い唐芥子を穿したのが美しいとて眼に觸るゝ朝鮮の總てを嘆美された。併し家は餘りに小くその説が出るゝ伊集川子爵夫人は又、内地の田舎にも往々ある人家を見受えす一室温寒室の清潔で、小澤副社長始め賓客男爵夫人一同は副會長以下と少ゝ々挨拶し斯

王能雅堂

阿利山アリサン 鐵道テツドウ 見る。茲は有名な
 阿利山鐵道アリサンテツドウの頭が燃え立つてゐる。ともすれば
 原や畦道には仙人掌サボテンの類、曼陀羅マンダラの類が燃え立つてゐる。ともすれば
 繁り、田には稻より甘密カンミツ多く
 時半義塾に著。五分間停車の間に
 斗六を通過して午後四
 處たと云ふ。斗六の最も
 畢かたを全長用ひ、全長

シンク油

北緯廿三度の熱帶圈を通過したからと云つて別に暑さが違ふと云ふ譯ではないが、流石阿里山材の集散地として如何にも其らしく貨車に積まれたり又は野積の儘の樫や檜の巨杉長材が目につく。試に熱帯圈の氣温を驗すれば九十二度を示してゐる

方

二十六日家延博を觀た總督府醫院長芳賀醫師博士は曰く「瓦斯を應用した臺所、座敷などは確かにいへば第一便利だから、東京に於て一般に利用されるかどうかは疑問だが兎に角」

▽面白い出品　だ、子供臺所を想ういふ風にしてやれば全くいい、私の知つてる入澤博士の所にも子供臺所があつてこれに似た様な設備が

▽窓の所へ机　を持つて行つて

も可^かなりあるが寢臺^{しんだい}も

程云「新」
起し階上各室に暖を廻り、餘りの湯のいのである。」

したるはいふと思ひつきだ、併し容易に蒸氣を通ずることが出来るか
が問題だ、私の知つてゐる人で四國の西洋造りの家を建て下で蒸氣を暖め上各室に暖を廻り、餘りの湯のいのである。」

「朝鮮人の方が却つて進んでいゝ、抱きかゝる西洋人は暖を暖しつゝける傾きがあるが此の陳列の機に胸を暖め抱く様にするのが何よりよいのである。」

買賣多數成立 於多田不動產信託所
電話 二二一 接

高田金仲 週
株式 仁川米豆取引所仲買人 會社
（仲買人たる實米の厘足）
去月以來米市漸次落勢を經るに當り内地米の最近の統制は申分
彼陸天候の事起し越後、三越、國產を以て昨來最も急激な落勢を現
三日迄に東京一十圓十錢大坂一十圓四錢大限の落勢は實に
今迄接けの不況を前出の通米輸入一萬四千丁の小皮限を見ても是
て別段原料の抽出によるものならざる様似に其後の天候對して各
作物穀類を輸入するの困難は併せて言へらるるに於て米市に於
て今後の騰貴を如何にする。要は今後の天候如何であるは勿論なるも
して大なる騰貴を見ざる限り落る。さ實米の壓迫に相當分れたるも

秋なりて
の街

利権防
 害は最
 に必要
 也
 アル
 オース
 意は
 かる
 也

血

浴場を新築し
全く面目を一新せる

京釜線天安驛より三里

京城より温泉場まで片道二時間半の行程

自働車にて三十分

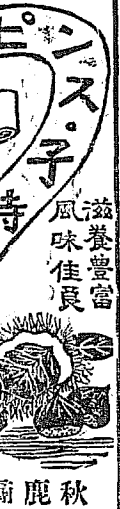
浴槽は普通男女浴槽四室の外御家族専用の浴室四あり硬質陶器を以て之を熱く結構は極めて美麗に有之候

旅館は諸事整順内地一等旅館に比し遜色なく至極町堂に御収めの申上候

部の屋賃資の設備は申し最も輕便にて居心地よく永く滞在の御旅客には極めて御便利に有之候

滋養豊富
風味佳良

秋鹿平
五話電



本店製品は共進會々場平安南道賣店に於て出張販賣致し居り候間是

御立寄り被下度休憩所の設備も有之候

攝津灘

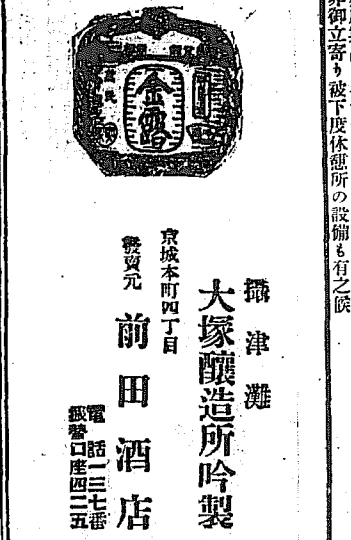
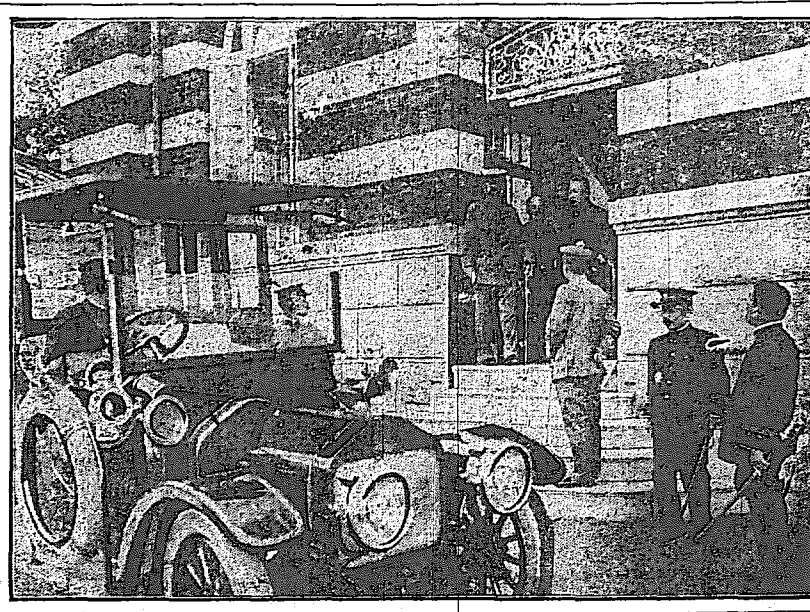
大塚醸造所吟製

京坂本町四丁目

發賣元

前田酒店

電話一三七番
鐵壺口座四三五




挑川如燕口寅

大きな土藏を御覽になつた、是は、
來上つたばかりと見えてどこもピカ
／＼光つて居ります、其の土藏を御
覽になつたお足が止つて、吉ア、大
きな土藏だ」
と仰しやつた、スルと
御側に控へて居た大目附松平源兵衛
の顔色が變つた様子、半町ばかりお
出でになります。吉、圖書、先刻の
土藏は大きいと思つたが大きい
ぞ、と仰しやつた、圖書頭は、
恐れ入りましたとございます」とお答へ
申した、つまらないお話しでござい
ますがさうでない、將軍家の御足
が止り、お目に付いた位で、大きな
ものだ、と仰しやれば、お目障りにな
つた土藏だに依つて御馳城の時刻ま
でに取替してしまはなければならぬ
別段悪いものではない、只大きな土
藏中へ何者が落ちてきたか、
落ちて居りました、是れを吉吉公公
お拾ひになつて一つ老中へ知らせし
やうと思召し、板倉内膳正
お呼びになつて、吉内膳、是れは何
いふ物だぞ、お見せになつた、内
正、へ、エ、恐れ入りました、
吉内膳、何ぢやないが、
つてはいかん、四があたり五が
あたり三があたり、四があたり五が
あたり七はないな、内へ、
いません、吉何で此數を斯様な四
つた土藏だに依つて御馳城の時刻ま
でに取替してしまはなければならぬ
別段悪いものではない、只大きな土
藏中へ何者が落ちてきたか、
落ちて居りました、是れを吉吉公公
お拾ひになつて一つ老中へ知らせし
やうと思召し、板倉内膳正
お呼びになつて、吉内膳、是れは何
いふ物だぞ、お見せになつた、内
正、へ、エ、恐れ入りました、
吉内膳、何ぢやないが、
つてはいかん、四があたり五が
あたり三があたり、四があたり五が
あたり七はないな、内へ、
いません、吉何で此數を斯様な四
つた土藏だに依つて御馳城の時刻ま
でに取替してしまはなければならぬ
別段悪いものではない、只大きな土

皮膚科
 皮膚病 淋病 梅毒 性病
 生殖器病 淋病 梅毒 性病
 機能障礙
 主治 明達 佐藤 醫院
 (電話 一七三番)

[illegible]



一 絲みだれぬ

最近の化學と經濟に依つて冷帯に
嚴密に批判を下さるゝ時には必ず

品質本位の

花王石鹼

石鹼中の最優位です

元入總本日本堂 元島國總石王花
店理代四國倫石花 店理代京國水信島
向土洋行大 向地販賣部
會同組商大 會商細長



無
鉛



御
料

御園白粉

御園白粉は御料調進の御下命を蒙る事爰に十有餘年、即ち無上の光榮を記念する爲、御園白粉とは名銘したるもの、更に永く謹んで此名譽を拜戴し、科學の進歩に伴ふ改善の製法に苦心を重ね、白粉第一の定義たる、地肌を透して美しき生彩を現はすに充分なる効果を保證し、併せて御園化粧品の一式に於ても、一々確實なる奏効を斷言して、然も化粧方法の根柢たる、肌膚を養ひ肌理を整ふる基礎を作り、要するに生涯の化粧美を全ふする、他に比類無き効能の實證は、化粧界空前の模範品として、弘く江湖に甚大なる信用の厚きを加へつゝあるは、偏に實質優良の結果に外ならずと雖も、又以て需用者各位の多大なる眷顧に依る所と、深く感謝の意を表するに共に、御園化粧品の専用は遂に眞の美人となるの資格を得て、日本の文明を立證する媒たるべし

御園化粧品發賣元
ミツワ化粧品本舗
丸見屋商店

御園化粧品製造本舗
伊東胡蝶園

東京日本橋區本町三丁目電話四四八四〇五
東京日本橋區本町三丁目電話四四八四〇五

東京銀座區金町電話四七四二
東京銀座區金町電話四七四二

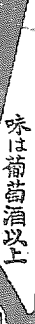
米期

定期未定買之某無代進早
前金津安に紹介を要す
大阪山北區常呂通下丁
大空局を對面所仲實人
入江商店
電話東長二七九六五
三六八

なつやせーよく進む紳士の友
夏瘦食フエロール
非常の美味・非常の滋養―――
味は葡萄酒以上
産も酒精分なし

○合衆店よりあり

太田五郎氏 史拾銭



山河光あり矣

産共進會體現したのである。彼等閑院宮同、仁兩殿下には廿八日特別の各道の出品に係る審判席の如きは駕に仁川驛御發車龍山驛御客の儘かに舊國時代と五年後の今日に於ける産業發達と比較對照して餘すに御定なれば之れが御出遊のため寺内總管は山縣赤十字社朝鮮本部總長

▲第二學園 公立小學校七校
▲第三學園 公立各種學校四十

十四、諸君の御方々を招き御列御通過後と雖も警察
十五、るべからざること

指示ある迄は各自其の位置を離

時より共進會開會式に参列の爲
來鮮する河野廣商務大臣を歡迎し

京城日報社代理部
振替貯金口座東京三〇〇號

院
目
頼に應ず

院長、醫學博士古城憲治

